

■第五次総合計画の進行管理のしくみ

- ・第五次総合計画では、計画の進行管理について下記のとおり定めています。
- ・5年(基本計画の計画期間)をサイクルとする管理とともに、毎年度実施する進行管理として、PDCAサイクルの図の内側(破線囲み内)に1年間のPDCAサイクルを記載しています。
- ・この内容に基づき、8月～10月にかけて平成27年度事業の行政評価を実施しました。

(『第五次総合計画』85ページ抜粋)

4 総合計画の進行管理

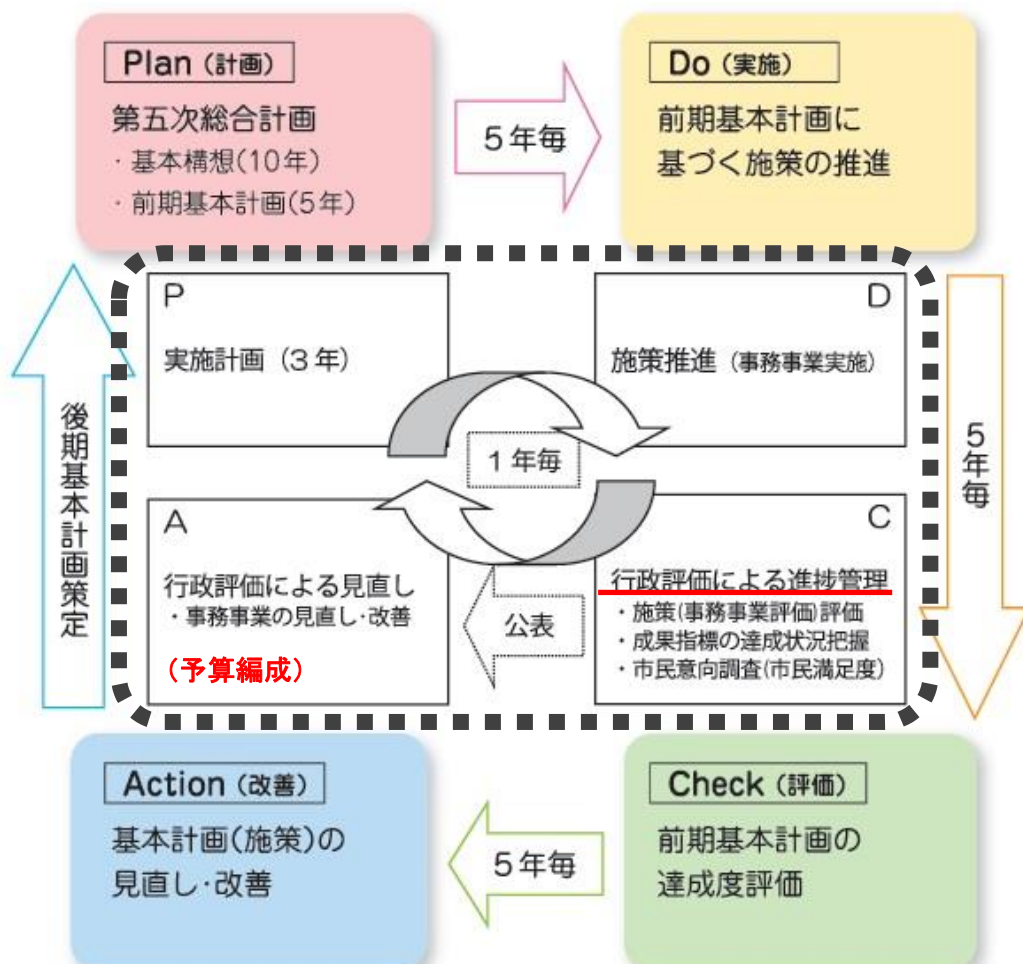
時代の変化に対応しながら多様化・高度化する行政ニーズに的確に応え、効率的な行政運営を行っていくために、PDCAサイクルに基づいた総合計画の進行管理を行います。

基本構想を実現するための手段が基本計画であり、基本計画を実現するための手段が実施計画です。基本計画では、めざす姿について最終的に実現したい状況(アウトカム)を「目標」とし、前期5年で達成すべき「成果指標」をできる限り数値化しています。

目標への貢献と成果指標を意識しながら実施計画を策定し、事務事業を実施していきます。また、事務事業の実施内容を毎年度評価し、翌年度の改善の方向性を示していきます。

前期基本計画についても5年をサイクルとする進行管理を行い、成果指標や市民満足度に基づく検証と評価をもとに後期基本計画の目標や成果指標を再設定していきます。

PDCAサイクルに基づく総合計画の進行管理



◆第五次総合計画に基づくPDCAサイクル

